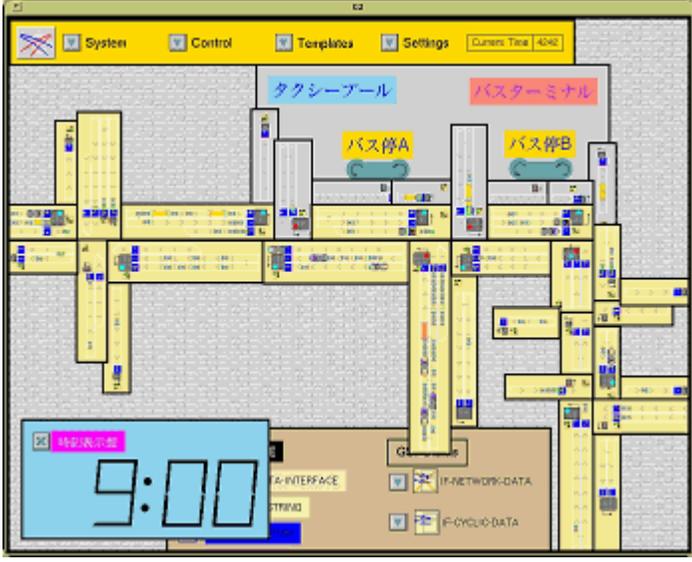
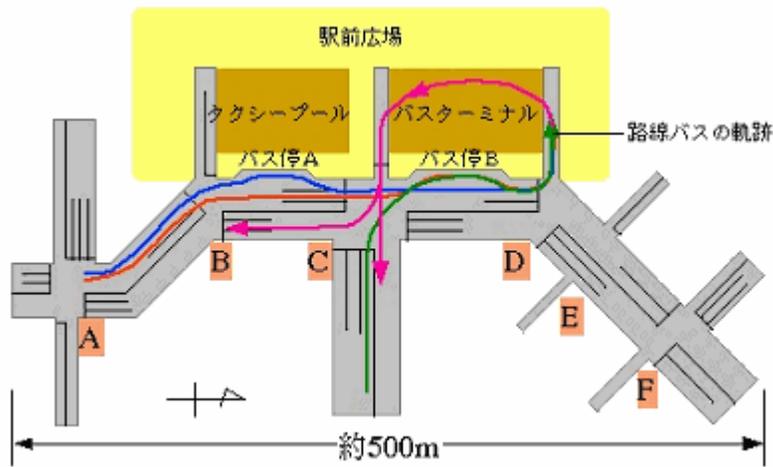


シミュレーションモデル適用事例シート

大分類	道路施設	小分類	交通施設	シミュレーションモデル名	AVENUE				
概要	適用事例名 JR 金沢駅東口駅前広場改修計画の交通影響評価								
	目的・概要 1)バスターミナルの出入口変更による周辺交通への影響評価 2)経路選択の余地のない過飽和実ネットワークによる AVENUE の検証								
	本事例におけるモデル適用上の特徴 リンクに乗客降車用のバス停とバス専用レーンを設置								
	対象範囲 JR 金沢駅東口周辺(東西約 500m) 対象時間帯 平日 7:50~9:10								
対象範囲及びネットワーク	評価対象時期								
	対象道路網 主要地方道								
	ネットワーク規模	ノード数	17	リンク数	30	起終点ノード数	11	総トリップ数	5000
		一般街路ネットワーク		交差点数	6	信号交差点数	5	道路区間数	17
		自専道ネットワーク		分岐部数		出入口数		道路区間数	
	特記事項 乗客降車用のバス停とバス専用レーンを交差点間のリンクに設置								
	(ネットワークの概略図面を添付)								
									
入力データ	道路データ	単路部	リンク長、車線数、リンク容量、ジャム密度、自由流速度、バス専用レーン、バスベイ						
		交差点部	右折専用レーン長、飽和交通流率、右折車両交差点内滞留台数						
		合流部							
	信号制御	設定パラメータ	信号現示(サイクル長:140 秒)、オフセット						
		作成方法	実測データを使用						
	交通需要	設定単位	OD 交通量						
		作成方法	ネットワークの端点ノードでナンバープレート調査から推定						
空間単位		ネットワーク端点(OD ノード、バスターミナル、タクシープール)							
時間単位		10 分単位、80 分							
車両属性区分	乗用車、バス、タクシー								
その他	バス停での平均停車時間								
モデル設定項目	スキャン方式	periodic scan 方式、1 秒/1 スキャン							
	パケットサイズ	1 台/1 パケット							
	経路選択原理	旅行時間をコストとする最短経路探索							
	特記事項	経路選択の余地のないネットワーク形状							
再現性検証	キャリブレーション	パラメータ	飽和交通流率						
		方法	交差点方向別累積流出交通量を観測値に合うように調整する						
	検証方法		交差点方向別累積流出交通量を用いて検証						
	検証用データ取得方法		交差点で実地調査						
出力データ	1)駅前広場前面道路を通過する車両の旅行速度 2)交差点での方向別渋滞長								
記入者	所属機関・部署 東京大学生産技術研究所 第5部 桑原研究室								
	電話	03-5452-6419	FAX	03-5452-6420					
公表文献・資料等	AVENUE 研究グループ HP < http://tenhoo.iis.u-tokyo.ac.jp/~poepoe/avenue&rt > Ryota Horiguchi et al., The Model Validation of Traffic Simulation System for Urban Road Networks: 'AVENUE', Proceedings of "The Second World Congress on Intelligent Transport Systems '95, Vol.IV, pp.1977-1982, 1995.								